

# 補助金評価シート(平成21年度実績分)

## (1) 補助金事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
94002	町知的障害者育成会補助金		保健福祉課	社会福祉係	野澤 秀秋	小野 耕一
			一次評価年月日	平成 22 年 6 月 18 日	連絡先(内線)	2121
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0301	社会福祉総務事務		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	安らぎとうるおいのある社会		
		節 (コード選択)	1節	地域で支える思いやりのある福祉を充実する		
		項[基本施策] (コード選択)	214	障害者福祉の充実		
		主な取り組み (コード選択)	2142	知的障害者育成会の活動補助		
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始)	年度 ~ (終了予定)	年度		
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他( )				
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称: )				
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)					

## (2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input checked="" type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	---	-----------------------------

( 交付団体名 : 辰野町手をつなぐ育成会 )

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

知的障がい者(児)の社会参加を進める。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	知的障がい者(児)の社会参加活動を担っている団体に補助金を交付する。
2	

## (3) 補助金事業の実績【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		23	年度(見込み)
①	指標名	障がい者(児)の社会参加活動補助事業		70	65	65	65
	説明	各種啓発、ボランティア活動への参加		目標値設定の根拠 延べ人数			
②	指標名						
	説明			目標値設定の根拠			

## (4) 交付額実績/計画の推移【Do2】

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度								
事業費(円)		254,580			262,892			260,000			260,000								
補助率(町負担分)		16%			15%			15%			15%								
町交付額(円)		40,000			40,000			40,000			40,000								
財源内訳	国庫支出金																		
	県支出金																		
	地方債																		
	その他	214,580			222,892			220,000			220,000								
	一般財源	40,000			40,000			40,000			40,000								
人件費の概算		(千円)																	
対前年比					%			79			76								
					95.8			104.7			100								
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費				
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	79	76	79	79
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート											0	0	0	0			

**(5) 補助金の効果の評価 [Check]**

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	障がいのある人であっても、誰もが社会の一員として、地域で安心して自立した生活ができる社会の実現に向けた活動は必要。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	ノーマライゼーション(障がい者と健常者とが区別されることなく生活をする姿や運動)の理念実現のためにも必要。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか?	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	ふれあい広場への参加等を通じて、町民の理解を得るために役立っている。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	家族だけの運営には負担が大きく、補助金は必要である。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	B	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	障がい者の社会参加や啓発活動の数値化は難しい。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	町の行事への参加やボランティア活動等、活動は多岐にわたり成果が認められる。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	有効に活用されている。
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	段階的に軽減を行った。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		障がい者(児)の自主的な活動が図れる。		

**(6) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

**<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

a 増額する  
 b 減額する  
 c その他(隔年対応等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)	
--------	--

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	22年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
	[反映内容]				

**(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
平成18年度まで、継続して補助金の削減をしてきた。。当分の間、現状維持としていく。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

上記 a ~ c を選択